

東北六魂祭 2015 秋田に関する活動状況について

東北六魂祭 2015 秋田は、5月30日(土)から31日(日)の2日間にわたって行われ、秋田市内の複数の会場では複数のイベントやパレードが行われたほか、各種のPRブース等が出展されました。

5月30日の東北六魂祭の初日に行われた開祭式には、西川特別区長会会長、松原大田区長、田中中野区長が出席しました。西川会長が、23区を代表して挨拶に立ち、今後も東日本大震災からの復興への継続的な支援と、東北地方との更なる連携・交流を図っていくことを表明しました。【写真1・2】

特別区PRブース(出展名：東京23区・特別区長会)では、台東区(3名)、荒川区(2名)、中野区(2名)、品川区(1名)の職員のほか特別区長会事務局の職員による本プロジェクトの紹介や特別区の観光のPRに関するパネルの展示、各区から提供を受けたPRグッズの配布を行いました。【写真3・4・5】

東北六魂祭が開催された2日間設置したPRブースには多くの方が来場し、展示したパネルをじっくり見られる方や東京の観光地について質問される方が数多くいました。また、ブースで行った各区のPRグッズの配布では、ブース前に長蛇の列ができ、事前に用意した複数の区のPRグッズ等の詰め合わせ1000セットのほか、今回ブースの運営に参加した各区が用意した各種のグッズは、開催2日目の午前中にすべて配布が終了するほどの人気を博しました。

なお、東北六魂祭開催に先立ち、各区は、区施設等でポスターの掲示や自立バナー等を設置し、チラシやポケットティッシュの配付等を行うとともに区ホームページなどの各区がもつ広報媒体等でのPRを幅広く実施しました。



左から大田区長、特別区長会長、中野区長





プロジェクトの取組について

4. 取組の取組状況

(1) 特別区と国との連携強化の取組状況 (国との連携強化) (2) 特別区と国との連携強化の取組状況 (国との連携強化) (3) 特別区と国との連携強化の取組状況 (国との連携強化)

5. 今後の取組方針

6. 取組の取組状況

7. 特別区と国との連携強化の取組状況 (国との連携強化)

特別区全国連携プロジェクトの取組について(取組内容)

我が国は、人口減少社会を迎える中で、地域の経済の振興や社会課題の解決などが懸念されており、今後さらに地域の活性化が求められています。国もこれを課題として取り組んで、「地方創生」に力を注いでいます。

一方で、全国各地の経済は地方創生の取組にも一歩前進として、国は、本邦が誇るべき地産地消を、地方創生の一環として推進しています。国は、本邦が誇るべき地産地消を、地方創生の一環として推進しています。国は、本邦が誇るべき地産地消を、地方創生の一環として推進しています。

結果的に国産品が売れやすくなり、大規模な取組が実現しています。結果的に国産品が売れやすくなり、大規模な取組が実現しています。結果的に国産品が売れやすくなり、大規模な取組が実現しています。

翻って東京・特別区は、人材の確保が課題です。その一方で、国産品が売れやすくなり、大規模な取組が実現しています。翻って東京・特別区は、人材の確保が課題です。その一方で、国産品が売れやすくなり、大規模な取組が実現しています。

このように、国産品が売れやすくなり、大規模な取組が実現しています。翻って東京・特別区は、人材の確保が課題です。その一方で、国産品が売れやすくなり、大規模な取組が実現しています。

をさらに強化し、国産品が売れやすくなり、大規模な取組が実現しています。をさらに強化し、国産品が売れやすくなり、大規模な取組が実現しています。

の取組として、「特別区と国との連携強化の取組状況 (国との連携強化)」に取り組んでいます。



六魂祭で行われた東北の各祭のパレードの様子

【 青森 ねぶた祭 】



【 秋田 竿燈まつり 】



【 盛岡 さんさ踊り 】



【 山形 花笠まつり 】



【 仙台七夕まつり 】



【 福島 わらじまつり 】

